

すめらみこと、うちのおほまへつきみかぢはらのあそみみことり
天皇、内大臣藤原朝臣に詔して、

しゅんざんばんくわにほひしうざんせんえふいろ
春山万花の艶と秋山千葉の彩とを競ひ憐れ

ぬかたのおほきみ
びしめたまふ時に、額田王、歌を以て判る

歌

一六番

ふゆ 冬ごもり 春さり来れば 鳴かざりし 鳥も来鳴

さ さぬ 咲かざりし 花も咲けれど 山をしみ入

と 取らぬ 草深み 取りても見ず 秋山の

こ は 木の葉を見ては 黄葉をば 取りてそしのふ 青

お なげ きをば 置きてそ嘆く そこし恨めし 秋山そ我

は